



●撮影前

症状	原因	対策	使用説明書のページ
電源を入れても液晶モニター/ファインダーが真っ黒になる。	マクロフラッシュコントローラーの電源が入っていない。	マクロフラッシュコントローラーの電源を入れてください。	18
	マクロフラッシュコントローラーの電池が切れている。	マクロフラッシュコントローラーの電池を充電するか、新しい電池に交換してください。	17

●撮影中

症状	原因	対策	使用説明書のページ
シャッターを半押ししてもピントが合わない。	フォーカスモードレバーが「MF」(マニュアルフォーカス)になっている。	フォーカスモードレバーを「AF-S」(ワンショットAF)に切り替えてください。	20
	ワーキングディスタンスが撮影可能範囲よりも近過ぎる。	撮影可能範囲内で撮影を行ってください。	16
ピント位置の「+」マークが「  」マークに変わり、勝手に移動してしまう。	フォーカスモードレバーが「AF-C」(コンティニュアスAF)になっている。	フォーカスモードレバーを「AF-S」(ワンショットAF)に切り替えてください。	20
ピント位置の「+」マークが「  」マークに変わり、ピント位置が指定できなくなりました。	フォーカスエリアがワイドフォーカスフレームになっている。	十字キー中央の実行ボタンを長押しすると、フレックスフォーカスポイント「+」に戻ります。	24

●撮影後

症状	原因	対策	使用説明書のページ
きちんと構図を合わせたのにずれてしまった。	シャッターを押してからカメラが動いてしまった。	シャッターを押してから実際に撮影されるまで、約0.1~0.15秒のタイムラグがあります。シャッターを押してからも、しばらくの間はしっかりとカメラを構えてください。	25
撮影した画像が明るすぎる/暗すぎる。	撮影モードとフラッシュの取り付け位置が合っていない。	フラッシュを正しい取り付け位置に取り付けてください。	14, 19
	フラッシュの照射角度が正しくない。	フラッシュを正しい照射角度にセットしてください。	19, 20
	間違っ前ダイヤル/後ダイヤルを回し、シャッタースピードや絞り値が変化してしまいました。	ダイヤルを回してシャッタースピードと絞り値の設定を元に戻してください。	22
フラッシュの発光がおかしい。(片側だけが発光する/発光の強さがおかしい)	マクロフラッシュコントローラーの「ツインフラッシュ発光部ボタン」を押してしまい、発光部の選択が[A点灯]または[B点灯]になってしまった。	ツインフラッシュ発光部選択ボタンを何回か押して、[A・B 両点灯]を選択してください。	34
	マクロフラッシュコントローラーの「TTL/Mテスト発光モード切り替えボタン」を押してしまい、発光モードが[Mマニュアル]モードになってしまった。	「TTL/Mテスト発光モード切り替えボタン」を何回か押して、[TTL]を選択してください。	34
画像がぼけてしまった。	シャッターを半押ししてピントを合わせてから、カメラが前後してしまい、その状態で撮影を行なった。	シャッターを半押ししてピントを合わせてから、カメラを前後させないでください。カメラが動いてピントがずれた場合、いったんシャッターから指を離して、再度ピントを合わせてください。	23
撮影した画像の色がおかしい。(パソコンでの再生時)	モニターの設定が最適でない。このカメラで撮影した画像はsRGBの環境で見たときに最適に再現されるよう設計されています。(Adobe RGBを除く) sRGBで規定されている色温度は約6500K、ガンマ値は「2.2」です。	・色温度の設定 モニターの色温度を6500Kに設定してください。設定方法はモニターの使用説明書をご参照ください。 ・ガンマ値の設定 Macintoshの場合は「モニタ調整アシスタント」で「2.2」にしてください。設定方法はMac OSの仕様説明書をご参照ください。Windowsでは標準が「2.2」なので、変更する必要はありません。 その他、詳しくはカラーマッチングに関する専門書をご参照ください。	—

アイススペシャル Eye special かんたんガイド



1 どんな写真を撮りたいかを選びます (撮影モードの選択)

口元 白歯/咬合面 ミラー 顔貌/胸像 オベetc シェードテイキング 前歯拡大

→モードを切り替える

2 写真の撮り方を選びます (撮影方法の選択)

- 倍率に関係なく、自由な大きさを撮りたい → AFフリー撮影
- 倍率を決めて、一定の大きさを撮りたい → 定倍率撮影

→撮影する

3 AFフリー撮影

撮りたいものの大きさに合わせてカメラを前後させたり、ズームリングを回して調節します。

- 被写体に近付いて拡大して撮りたい → テレマクロ撮影
- 離れたところから広い範囲を撮りたい → 通常撮影

※ただし、低反射モードはテレマクロ撮影だけ可能です。

撮影不可 歯科撮影モードの撮影可能範囲

テレマクロ領域 通常領域

歯科標準モード

低反射モード

2歯～6歯 (デジタルズーム ON)
6歯～口元 (デジタルズーム OFF)

4歯～顔貌 (デジタルズーム ON)
口元～胸像 (デジタルズーム OFF)

テレマクロ撮影
200mm～50mm

通常撮影
200mm～50mm

0cm 約15cm 約30cm 約1m
ワーキングディスタンス(被写体からクローズアップレンズ先端までの距離)

1 電源を入れる

1. カメラ本体のメインスイッチを入れます
2. マクロフラッシュコントローラーの発光ONランプを点灯させます
3. 撮影モードレバーを「MR」に合わせます

2 モードを切り替える

歯科標準モード

1. 撮影モードダイヤルを「MR」(登録1)に合わせます
2. ツインフラッシュユニットをフラッシュアームの内側に取り付けます
3. フラッシュの照射角度を橙色の目印に合わせます

低反射モード

1. 撮影モードダイヤルを「MR」(登録2)に合わせます
2. ツインフラッシュユニットをフラッシュアームの外側に付けます
3. フラッシュの照射角度を緑色の目印に合わせます

3 撮影する

AFフリー撮影

1. フォーカスモードレバーを「AF-S」に合わせます
2. ズームリングをテレ側いっぱいにして、マクロレバーを「MACRO」側に切り替えます
3. 撮影したいものに合わせてからカメラを前後させたり、ズームリング、マクロレバー、拡大ボタンを操作します
*(*低反射モードはテレマクロ撮影のみ)*
4. ピントを合わせたい場所に「+」を移動させて、シャッターを半押しします
(キーで+が移動、キーで中央に戻る)
5. シャッターを半押ししたまま撮りたい構図にカメラを移動させて、シャッターを押し込んで撮影します

定倍率撮影

1. フォーカスモードレバーを「MF」に合わせます
2. ズームリングをテレ側いっぱいにして回します
3. 倍率表を参照して、撮りたい倍率に合わせてマクロレバーを操作します
4. 倍率表を参照して、撮りたい倍率に合わせて拡大ボタンを操作します
5. 倍率表を参照して、撮りたい倍率に合わせてフォーカスリングを回して、画面右下の距離表示を調節します
6. カメラを前後させてピントが合うように調節します
(キー+キーで画像を部分拡大)
7. シャッターボタンを押し込んで撮影します

【倍率表】

倍率	設定			実際のワーキング ディスタンス
	マクロレバー	デジタルズーム	画面の距離表示	
×1.5	MACRO	ON	0.28m	約14cm
×1.0	MACRO	ON	0.56m	約30cm
×1/1.5	MACRO	OFF	0.34m	約18cm
×1/2	MACRO	OFF	0.56m	約30cm
×1/2.5	—	OFF	0.9m	約43cm
×1/3	—	OFF	1.4m	約55cm

※低反射モードでは、×1.5～×1/2まで撮影可能です。
※上記以外の倍率は、アイスペシャルの使用説明書をご覧ください。

撮影した画像を確認する (クイックビュー)

1. 撮影後、クイックビュー/消去ボタンを押します
2. 十字キーの左右を押して、見たい画像を選びます
3. シャッターボタンの半押し、またはメニューボタンを押すと、元の撮影モードに戻ります

画像を消去する

1. 撮影後、クイックビュー/消去ボタンを押します
2. 十字キーの左右を押して、消去したい画像を選びます
3. もう一度クイックビュー/消去ボタンを押します
4. 下の画面が表示されたら、十字キーの左側を押して「はい」を選び、十字キー中央の実行ボタンを押します→画像が消去されます
5. シャッターボタンの半押し、またはメニューボタンを押すと、元の撮影モードに戻ります

注記 (AFフリー撮影 定倍率撮影 共通)

- AFフリー撮影でピントが合わない場合は、ワーキングディスタンスを確認して、必要に応じてマクロレバーを操作してください。*(歯科標準モード)*
- シャッターボタンを押し込んでからしばらくの間は、構図がずれないようにカメラをしっかりと構え続けてください。
- 続けて撮影を行う場合は、「F」の表示が赤から白に変化してから5秒以上待って撮影してください。

● 撮影中に前/後ダイヤルに触れないように注意してください。撮影モードダイヤルを一度別の位置へ回してから元へ戻すと、変更された設定がすべてリセットされます。*(ただし上書き登録された設定は保持されます)*